

	委員からの意見	対応（反映）状況
H27.10.22	県医師会として口腔ケアを積極的に取り組んでいく方針であるが、貴院においての取り組みや必要性は如何なものか。	入院患者の口腔ケアについては、かかりつけ歯科医師による対応としていたが、歯科医師会とのルートづくりについて、4月21日に大和郡山市歯科医師会長、5月12日に奈良県歯科医師会理事と面談を実施。6月16日には、奈良県歯科医師会の事業である「がん患者医師歯科連携事業」についての職員向けの研修を開催し、周術期口腔機能管理に取り組む。
H27.10.22	市の乳がん健診受検率は県の受検率より低い。貴院は積極的に乳がん検診に取り組まれている。市としても今後は積極的に取り組みたい。	特殊外来のなかで乳腺外来を開設しているが一般外来においても受検できるよう枠を広げ、院内モニター等で広報した。また、受診券の使用期限間近に受けることの無いよう保健センターから市民に対し早期に受検していただくよう広報を依頼した。
H28.10.27	口腔ケアに取り組んでいただいている情報が届いているが、要望や必要性も広まってきているので継続願いたい。	県の歯科医師会から講師を招き10月から平成29年3月まで毎月1回勉強会を開催し、1月1回、2月3回、3月2回のペースで県歯科医師会から歯科医師、歯科衛生士の派遣を受け入院患者に対し口腔ケアを実施した。その後も、研修で習得した口腔ケアを入院患者に対し実践している。
H29.10.26	高齢者の褥瘡は栄養状態も悪く治りにくいと言われるが、入院しながらの治療が良いのか在宅でも可能であるのか出席している審査会で話題となる可能性がある。	褥瘡の状況や患者・家族の意思にもよるが、在宅での治療も可能であり皮膚・排泄ケア認定看護師が特定行為研修も終えており気軽に相談いただきたい。
H30.10.11	市民公開講座やまちの健康教室等については、色々取り組んでいる事は分かったが、地域の医師には伝わっていない。他の病院は大々的にチラシを配付したりしている。広報で告知するだけでなく地域の医師に訴えかける方法で告知する必要がある。	「在宅医療・介護関係者と病院関係者の連携マニュアル」の作成に携わり、完成した時に医師全てに説明し手渡しした。現在は入院3日以内にケアマネジャーと連携をとることで入院前の状況と退院後に必要となるサービスの共有をしている
H31.3.14	放射線科検査を大和郡山病院で撮影することを患者さんに説明すると患者負担金額を聞かれることが多いので、放射線科検査の案内にも患者さんの負担金額を記載して欲しい。 水曜日にCT・MRI時間外検査を始めたが案内があったが、何時までか案内に記載して欲しい。	放射線科検査の患者負担金と水曜日のCT・MRI時間外検査時間を案内に記載いたします。

